

政府の文部収奪強化・政治反動攻撃に対決し
新文官法制定策動粉碎・臨時措法即時廃棄
5・23独山公判闘争勝利・日教組連帯・5・23日教組
スト断固支持

5月下旬学生文部をクラスから準備しよう

政府のインフレ、文部収奪を
強化、一連の政治・教育反
動、司法反動攻撃と対決
しよう！

政府独占資本は、叫春斗に決起した特約者、及び物価
高、インフレにあえぐ国民に対して、更に文部収奪強化
、政治反動攻撃・ファシオン化のりだしている。
叫春斗を早く開始し取り、ホロもつけようといふ政府独占
は、4月下旬、電力、石油、消費米価、公共料金値上げ
げ攻撃を打ち出している。

また、政府独占資本は、インフレ物価高騰の対策
をさらし、国策防衛強化、防衛二法を通じて軍国主義強化
を推進し、他方で、日教組弾圧、請願神社法案、憲法改
悪、刑罰改悪、新文官法制定策動を通じて、教育問題を
意図的な対決意におしあげている。

このようにファシオン的な攻撃は、壁をゲルし、真
の田舎民の中に響くこととなるし、また、このよう
な動向に対して国民的批判を組織せねばならない。

臨時措置法は、8月期限切れを
前に、政府独占資本の現行法
を「リコール」して「新文官法」
制定策動を粉砕しよう。

政府独占資本は臨時措置法の下に、オーストラリアの
認定と学生の認定と学生のみなす教員に転じて、オース
トラリア、暴行行為に口実をかりて予防断罪、オース
トラリア当局の管理運営強化し、大学の反動組織を
支那強化を組織している。

同時に、文部収奪強化において、旧上帝国を中心とし
て大学、十大学協会の相互同盟、大学入試改革の動き
は、前文官法制定、新文官法制定以後、一歩に中教協
の具体化、新文官法の全面化を迫ったものである。

独山闘争の攻撃の主旨は、文部収奪、教育内容の私物化
をより一歩に進行させるために、学生及び教育の民
主諸権利（集い、政治活動の自由）の回復及び民主的改
革の萌芽を組織することである。

5月10日独山公判闘争の6通の文部を準備しよう

証人として全て部下に
証し、5月23日大阪公判
判自手は勝利しよう

・警察に対する差別の偏見と判断によって無実の
罪に陥れられ、警察、検察庁によってデッサ上
げられた狭山差別裁判に対する態度の面には、
権力は、石川青年の一審を度く、長期拘留を短つ
ている。

国家権力は、74春斗の高揚の中で、解放運動と勞
働運動を結合する中で、解放同盟の運動に恐怖し、
それ故、社会的孤立へ追いやるがために、また二
の間の一連の権力によって、学生は「威信」をかけた
裁判、吹田裁判、血のメーデー事件、八海事件裁判
等々が敗北している。で、科学的な六通の鑑定書
を採用できない理由が二にある。「狭山差別裁判取
り消し、無実の石川青年即時解放」。「石川青年は
無実だ、完全無罪判決を行なえ」の世論をう、
公判入獄中をこねねらう。

ワラフスから臨時時指回され、
狭山差別裁判の学判自手、
討論会を展開し、五月下
旬学生大会、フストライキ
と準備しよう。

現状暫に規定された一連の政治反動攻撃において
教育反動において「新大憲法制定策動」司法の反動
止において、ろく狭山公判に見られる証拠、証人全
面却下「狭山差別裁判」の二つの課題が我々の前
に提起されている。現在、この二つの課題の下に、
早速に全学的な闘いが要請されている。

この闘いを通じて、学内窮乏配体制打破の闘い、
政治的権利拡大、大学研究、教育の反独占改革、
解放教育樹立―差別を許さぬ―へ前進せねばなら
ない。

この間の斗争の成果、政治的有利一同
交収、リコール権、教授会の公判制、解の統一
反公判教育、解放教育―を更に前進して、他学
にのびても具体化させねばならぬ。

クラスにおいて学生は、民主同盟組織し、学生、学
部長に反対言論要求をこまめにねねらう。

日教組は、4月11日のストに抗議し、「日教組
強硬反対、教育の反動化粉砕、口実の教育言末果現

反ファシズム、日本の平和と民主主義擁護のために
徹底的に闘い抜くべきの声明の下に、23日に早朝一時
同ストで決起せしめている。

5月11日教組ストに連帯し、市大において学生
同様の闘いを展開し、全市の大学の最先頭に立ってス
トライキ体制を構築する必要がある。

426臨時時指回され即時時廃棄入
私学形成法紛糾ノ学判自手
げ阻止ノ日教組連帯ノ全大大阪
集会ノ成果を踏まえ、大阪府自
治会、連絡会、取組、府自治
会統一行動、首都行動、同い
を前進させる。

集会は、阪大、市大、関大、学大、分府自治会共
僅の下に行なわれ、各大学における「大憲法」の目
いか書案に前進していることが報告された。

更に阪大、市大、集会スローガンの下に、大阪府
国争を推進する絶望保障として府自治会連絡会、教行成
の面びひかなさね、自治会運動の先をこれへの参
照を促める書案統一が立ち取られた。

新大闘争、学連連帯、学大、学大の闘いの中で、全
大阪の自治会運動を更に発展させる、絶望保障が新
大憲法制定策動和府斗争の提議で立ちとられるつとし
ている。

更に東京においても、理科大、集会、五五大中
に、自治会連帯会が形成され人として、そして
5月下旬、地方における自治会統一行動を踏まえて、全
口口口として運動を展開し、臨時指回を即時廃棄、
新大憲法制定策動和府への巨歩を邁進せねばならぬ。

狭山学連の旗の下、5月11日、22
日狭山、同全、勝利ノ石川青年、連
帯全、同、西、連、会、に決起しよう。

5月23日狭山公判に同けた学生が、狭山学連に結集
する解放前、部、部、部、市大を初め、阪大、大阪
学大、同大、関大、天理大、大工大、で「狭山の黒い
雨」に運動を始め、各大学にも解放教育樹立の斗
いと結合して展開されている。

これらの各大学での大衆的斗争を背景に、5月公判
斗争を全口学生が統一行動で固く必死がある。

学友諸君、狭山学連の旗の下
5.23狭山公判に結集しよう